

JICA東北 開発教育・ 国際理解教育 支援メニュー



“世界”と私たちとのつながりを体感する授業や講座づくりに、
開発教育支援メニューを利用してみませんか？



JICAでは、世界で起こっている諸問題と私たちの暮らしがどのように関わっているのか、どうしたら解決できるのか、主体的に考えながら行動につなげることを目的として、様々なプログラムを行っています。学校で、地域で、世界を知り、一緒に何ができるか考えてみませんか？



p3 教室から開発途上国について学ぶ
国際協力出前講座



p5 海外で働きたい、国際協力の
仕事内容を知りたい
訪問学習



p7 先生から始める
アクティブラーニング
教師海外研修



p8 授業に役立つ新しい学びを作る
開発教育指導者研修



p9 生徒が感じた
「世界とのつながり」を作文に綴る
**国際協力中学生・高校生
エッセイコンテスト**



p10 国際理解・開発教育教材
の提供

開発途上国と 日本の人々を結ぶJICA

JICAは日本政府の開発教育支援(政府開発援助)を実施する機関です。

上下水道や道路などの人々の生活を支える設備の建設に必要なお金を低金利で貸したり、農業などの専門知識を持つ日本人を開発途上国に派遣したり、外国から人々を日本に招いて防災や医療などの研修を行います。また、井戸や病院や学校もない、最も開発が遅れている国には、それらの施設をつくるためのお金を提供します。

実は日本も、戦後、病気や食料不足で苦しんでいた時に、世界各国の援助を受けていました。



JICAをもっと知るには

まずはウェブサイトをご覧ください。また、各種パンフレット、広報誌「mundi」、[国際協力機構年次報告書]などの発行物はウェブサイトで閲覧できるほか、各国内拠点でも入手できます。

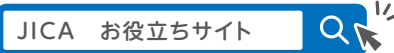
<https://www.jica.go.jp/>



先生のお役立ちサイト

JICA地球ひろばのHPでは、世界の現状や課題、国際協力について知り、理解を深めるための教材の提供や、実践事例・指導案を公開しています。

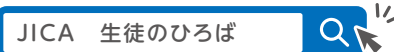
<https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/>



生徒のひろば

[生徒のひろば]では、国際協力活動や世界の課題、そして私たちと世界とのつながりや世界の多様性を知る上でヒントとなる様々なパンフレットや映像、JICAの施設等を紹介しています。

<https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/student/>





INDIA ©JICA/OSAMU FUNAO



教室から開発途上国について学ぶ JICA国際協力出前講座

開発途上国で国際協力に携わってきたJICAボランティア経験者やJICAスタッフが皆さんの学校や地域で開発途上国での異文化体験、ボランティア活動、国際協力についてお話します。

ポイント

- 地元出身のボランティア経験者の話を通じて世界の事情や文化を知ることができる。
- 国際理解教育だけでなく、郷土の伝統や文化を見つめ直す郷土教育の推進につながる。
- 児童、生徒向けの資料と併用することで授業に流れができる。

Point



対象

小中高大等の教育機関、自治体、市民団体など

実施日

通年 ※実施日の一か月前までにお申込みください。

費用

講師の謝金・交通費につきましては、原則としてお申込み団体のご負担をお願いしております。謝金については、学校や自治体における講師謝金単価基準がある場合は、そちらに基づきご相談ください。単価基準がない場合は、目安として一人当たり1時間4,600円(JICA規定に基づく)です。

例1



小学校での 出前講座

講師

- 青年海外協力隊経験者

内容(45分)

- 派遣国の紹介
- 海外の暮らし
- 海外の小学校の一日
- 協力隊の活動紹介

例2

市民センター での 出前講座

講師

- 青年海外協力隊経験者
- JICA研修員

内容(90分)

- 派遣国の紹介
- 出身国の紹介
- 海外の暮らし
- 伝統楽器を使った遊び
- 研修員との交流



要請元の感想

実は自分たちの生活は外国との関わりがたくさんあることや、自分たちの恵まれた環境とは異なり、支援を必要としている国があることなど、生徒たちはとても興味深く聞いていました。

総合的な学習の時間や教科学習では学べない事項を、非常に丁寧に教えていただきました。

自分の得意分野を活かして世界のために貢献していることなどを知り、自分ができることで世界や、人のために貢献したいと考えている生徒がおり、生徒の「生きる力」を育てていただきました。

申込方法

JICA東北国際協力出前講座HPにある「申込書」に必要事項を記入の上、メール、FAX、郵送で送付

※講師選定など調整には日数を要しますので、実施予定日より一か月前を目安にお申込ください。

JICA東北 出前講座





SENEGAL ©JICA/KENSHIRO IMAMURA



海外で働きたい、国際協力の仕事内容を知りたい **JICA東北訪問学習**

JICA東北に来てみませんか？ JICAスタッフがJICAの仕事や国際協力についてわかりやすくご紹介します。
JICA東北の他、各県窓口であるデスクでも訪問学習の受け入れを行っています。

ポイント

- 国際協力やJICA事業について、参加型学習を通して主体的に学ぶ。
- 海外で働いてきたJICAスタッフから国際協力の仕事内容を聞くことで、将来の進路選択に役立てられる。



対象

小中高大等の教育機関、自治体、市民団体など

実施日

通年 ※土日祝と年末年始を除く。

費用

無料

例1



大学からの 訪問学習

講師

- JICA東北所長

内容(90分)

- JICAの活動について
- 開発援助の具体例
- 質疑応答

例2

高等学校 からの 訪問学習

講師

- JICAスタッフ

内容(120分)

- JICAについて
- 国際協力について
- 協力隊の活動紹介
- 展示見学
- 民族衣装体験



依頼元の感想

生徒からは、「あらゆる手段を用いたコミュニケーションが求められる」「相手を理解しようとする姿勢が大切」「気になることは声に出して解決していくことが必要」などの感想がありました。国際協力のためにどのような配慮がなされているのか、感じ取ることができたようです。

生徒は途上国の抱えている厳しい問題を知ること、心を動かされたようです。そこから自分のためだけでなく、世界の人々のため、誰かのため、人の役に立つ仕事の大切さに気付けたようです。

申込方法

JICA東北訪問学習HPにある「申込書」に必要事項を記入の上、メール、FAX、郵送で送付

JICA東北 訪問学習





SRI LANKA ©JICA/JIRO NAKAHARA



先生から始めるアクティブラーニング 教師海外研修

小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の先生方を対象に、開発途上国における国際協力の現場を視察し、その経験・素材等を活かした開発教育実践のための研修を実施しています。先生ご自身が現地で感じたこと、得たことを、主体的な授業を通して児童・生徒に伝えませんか？

ポイント

- 国際理解に関する参加型学習から、子どもの自主性や協調性が養われる。
- 国内での事前、事後研修を通して開発教育に関する知識が得られる。

Point



対象

東北6県の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校に勤務する教員。

研修の流れ

- 3月下旬：募集要項掲載および送付
- 5月上旬：募集締め切り
- 6月上旬：第一次事前研修
- 7月上旬：第二次事前研修
- 7月下旬～8月上旬：海外研修(10日前後)
- 9月：帰国後研修
- 10月・11月：授業実践
- 12月上旬：事後研修

※派遣国・募集資格・参加条件・費用などにつきましては、募集要項をご覧ください。

事前研修



2回の事前研修では、JICAやODAについての知識に加え、訪問国の現状、開発課題等へ理解を深めるとともに、現地研修での視点について考えます。また、研修後の授業立案を実践するためのスキルアップを図ります。

海外研修



海外研修では、JICAのプロジェクトサイト、現地の学校、JICAボランティアや国際協力NGOの活動現場を中心に訪問し、訪問国の現状や課題を考えます。

帰国後研修



帰国後研修では、海外研修を通じて考えたこと、学んだこと、感じたことなどを振り返り、整理します。自分が立てた計画をもとに、実践にむけた改善点等を意見交換しながら、児童・生徒に何をどう伝えるかを考えます。

授業実践

授業実践では、研修での学びを活かした授業を、それぞれの学校で実践していただきます。



事後研修

事後研修では、「海外研修で何を学び、どう授業に活かしたいのか」、「その授業を受けた児童・生徒が何を感じ、何を学び、どんな変化が見られたのか」、「実践を通じてさらに何を考えたのか」など国内外での研修の成果を報告・共有します。



授業に役立つ新しい学びをつくる 開発教育指導者研修

ワークショップ等を通して、国際理解教育を実践するためのスキルアップを図ります。私たちの生活と開発途上国とのつながりや開発途上国が抱える問題への理解を促すと共に、教員同士のネットワークを活かして学校現場における国際理解教育の推進を目指してみませんか？

対象

開発教育・国際理解教育に関心のある方。





YEMEN ©JICA/JIRO NAKAHARA

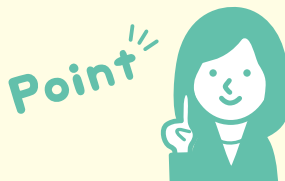


生徒が感じた「世界とのつながり」を作文に綴る **国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト**

本コンテストでは、次の世代を担う中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状や開発途上国と日本との関係について理解を深め、国際社会の中で日本、そして自分たち一人ひとりがどのように行動すべきかを考えることを目的として実施しています。

ポイント

- エッセイを書くことを通じ、私達の身の回りの出来事から、世界の人々と共により良い世界を目指し、自分たちのできることについて考えるきっかけになる。
- 夏休みの課題や、自分自身の思いを伝える場として活用できる。



※エッセイのテーマや応募方法などにつきましては、募集要項をご覧ください。

対象

全国の中学生・高校生





国際理解・開発教育教材の提供

JICAでは、国際理解教育・開発教育のための教材を作っています。
無料で提供していますので、ぜひご利用ください。

ぼくら地球調査隊(小冊子5種)

- いのち、輝け
- 砂漠化する惑星
- 学校に行けない世界の子どもたち
- 世界の食料
- 世界の水問題



授業で使える10分映像

アクティブラーニングを実践する学習指導案や各テーマの参考資料にも掲載

2015年国連で「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択され、日本を含めた世界の国々がこの目標のために、国内外の課題に取り組んでいくことになりました。そこで、世界の課題や、世界と日本のつながりについて理解を深めるため、世界のニュースや国際協力現場の映像を編集し、授業や家庭学習でご利用いただける10分映像をホームページで公開、また、無料で提供しています。





BHUTAN ©JICA/KENSAKU SEKI

各県のJICAにお立ちよりください

青森デスク

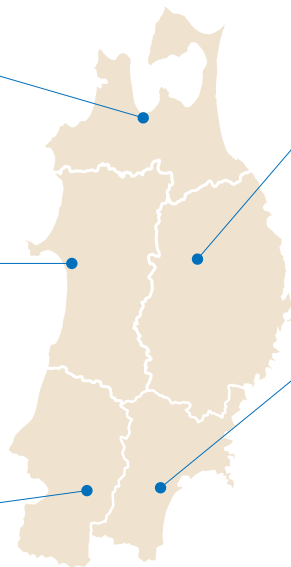
TEL: 080-3140-2129
青森県青森市安方1-1-40
青森県観光物産館 アスパム7F
(公財) 青森県国際交流協会内
jicadpd-desk-aomoriken@jica.go.jp

秋田デスク

TEL: 018-893-5313
秋田県秋田市中通2-3-8
秋田総合生活文化会館(アトリオン) 1F
(公財) 秋田県国際交流協会内
jicadpd-desk-akitaken@jica.go.jp

山形デスク

TEL: 023-646-6267
山形県山形市城南町1-1-1
霞城セントラル2F
(公財) 山形県国際交流協会内
jicadpd-desk-yamagataken@jica.go.jp



岩手デスク

TEL: 019-654-8911
岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1
アイーナ5F
(公財) 岩手県国際交流協会内
jicadpd-desk-iwateken@jica.go.jp

JICA東北

TEL: 022-223-4772
宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1
仙台第一生命タワービルディング20階
thictpp@jica.go.jp

JICA東北の最新情報はウェブサイトへ

<https://www.jica.go.jp/tohoku/index.html>